

第14回あおきっこ合宿

今年度のあおきっこ合宿は、5月13日(日)～19日(土)の6泊7日文化会館で行われ、青木小学校4年生から6年生の希望者48名と信州大学教育学部と長野大学から27名が参加しました。

今回のテーマは「ヒーロー！ やってみよう！ 相手のためにできること」ということで、合宿を通して男女・学年・班関係なくみんながヒーローになれるように頑張りました。

くつろぎの湯が利用できない月曜日は、ラポート青木へもらい湯に行かせて頂きました。夕食の準備は一般ボランティアの方々と一緒に行いました。小学校の先生方、保護者の皆さん等大勢の方々のご支援により、無事に終わることができました。



合宿をとおして、子どもたちの成長した姿や新しく発見した良い面、感じたことなどを大学生の皆さんにお聞きました。その中の一部を紹介いたします。

★一週間のはじめからずっとよくできていたのは、「聞く姿勢をつくること」でした。どんなに騒がしい状況でも、こちらが一声かければすぐに静かに自然と前を向くということが出来ていました。その他、一週間を通して5分前行動や靴を並べるなどが当たり



前にできるようになりました。相手の気持ちを考えられる、優しい子ども達でした。一週間ありがとうございました！

★最終日のパーティーの時、三役の席が作れなくて、みんなと離れて調理室で夕食



を食べていたら、男の子がたまたま調理室に入ってきて「3人で食べてるの、さびしいじゃん、あっちで一緒に食べよ。早く行こ」と言葉をかけてくれ、自分の班に席を3つ作ってくれました。本当に嬉しかった。

★通学合宿を通して、子どもたちは“子どもたちを見て、いい所をマネする”という姿が見られました。具体的には、配膳や

片付けです。他の班が素早く行動をし、活動が終わっているのを見ると自分たちの班も頑張らして終わらせようという姿がみられました。これが意識から習慣になり、最終的には“当たり前”になっていきました。他者から刺激を受けることはなかなかありません。通学合宿に参加してくれたからだと思います。これから、もっと多くの子どもの参加を希望しています。

★周りをしきるというよりは落ち着きのある子だったが、班長になって友達と協力しながら班を統制することができた。宿題をやらなかった子が大学生と協力しながら終わることができた。他の班の配膳までできるようになった。

★通学合宿のはじめは、片付けをしない人や、みんなが何かをやっていても遊んでいる人など少しまとまりがないように感じた。日が経つにつれて、徐々に互いに声をかけあってリフレクションする姿や、靴を積極的に並べる姿を見ることができた。一週間あると、こんなに人って成長するのかってぐらい子どもたちの成長を見ることができた。

★班の子どもたちが、一週間を通して自分たちで協力しながら動くようになりました。例えば、配膳のときに、班長であるYさんが「真ん中にお皿を集めようよ」と呼びかけたり食事の時にKさんが「サラダをとり分けるはしががないよね。」「俺持ってくるよ」などと言ってくれたり周りに気を配れるようになりました。



★肝試しの企画で、子どもたちが喜んでくれるのかなと思ったり、食事をおいしく食べてくれるのかな等心配していましたが、いざやってみると子どもたちはとても楽しそうに参加したり、とてもおいしそうに食べたりしてくれました。子どもの素直でかわいい一面ってこんなところにも表れるんだなと思いました。集合時間を1時間間違えて、泣いて落ち込んでしまった子に対して「俺たち全然怒ってないよ!」「誰だってあることだから気にすんな!」など班のみんなで励ます姿を発見しました。

保護者の方に合宿についての感想や大学生へのメッセージを書いていただきましたので、その一部を紹介いたします。



★宿題や掃除などやってから好きな事をするようになりました。妹に優しくなって、以前は面倒で言われても一緒に外で遊んだり公園に一緒に行ったりはしませんでした。今はしてくれます。

★帰宅してからの時間の使い方がリズムを持って出来るようになりました。あまり、目に見える大きな変化は

表に出さない子ですが、心の中に目に見えない大きな経験が沢山あったのだと感じます。合宿の思い出がいっぱいつまったお土産の壁掛けを見てはニコニコして過ごしています。

★一週間で成長があるか?と聞かれると・・・正直分かりません。ですが、班の仲間と仲良くなったり、人の話を聞いたりできるようになったとお別れ会で聞いたので、それが成長ではと思いました。

★はずかしがりやさんで自分の意見を人に伝えたり、仲の良い子以外となかなか交流が難しかった子が合宿や年間のイベントを通して色々な人と接したり話したりできるようになったこと、これは親がいくら言っても出来なかったことで、本当に皆さんが話しかけてくれたり、かまって(?笑い)くれたりした中で人に心を開くことを学んだことと思っています。一日目の送りの日に不安そうな顔をして



いた子の元へ何人かの学生さんが「よくきた～」と走って迎えに来てくれた時、ぱっと彼女の顔が明るくなりとても嬉しそうにしたこと。自分のところへ来てくれたという嬉しさ、ふだん見ることのない顔と姿、学生さんの対応がとても嬉しかったことを覚えています。本当にありがとうございました。



★一週間お世話になりました。子どもたちのために汗を流し、知恵を絞り、一生懸命取り組んでくださったことが、お一人おひとりのメッセージ、涙で伝わってきました。誰かが自分

のために懸命になってくれる、本気で遊んでくれることを経験した子どもは幸せです。ありがとうございました。今後も大いに学び励み、子どもの気持ちに寄り添える人となってください。

★一週間本当にお疲れ様でした。子どもにとっては親でもなく先生でもなく近所のおじさんおばさんでもない、自分たちと少し距離が近い大学生の皆さんと一緒に過ごした7日間は一生の宝物になったと思います。親には直接言えないことももしかしたら大学生の皆さんには相談できていたかもしれません。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し接して下さり心から感謝申し上げます。これからも机上では学ぶことができない多くの経験をしていって下さい。本当にありがとうございました。

★一週間、準備を含めればそれ以上ですね。本当にお世話になりました。最初は行かない！と言っていたうちの子も帰って来てみれば楽しい思い出ばかりです。しおりを見れば大学生の優しさに感謝するばかりです。最後に頂いた写真と手紙、見ながら説明してくれました。本当に楽しかったんだと思います。部屋に自分で飾っていました。本当にありがとうございました。お体に気をつけて勉強頑張ってください。

★一週間という長い間、子どもの生活を預かるということはとても大変だったと思います。ご自身の授業や生活もある忙しい中、最後にはすてきなメッセージボードまで作っていただき、丁寧に子どもを見ていただいたなぁと有難く思います。ありがとうございました。これからも企画に参加する気満々の娘です。お世話になりますがよろしくお願い致します。

★最後の合宿としてお世話になりました。4年生から毎年参加させてもらえたためか最高学年として意識しながら参加できたようでした。今年は家に帰ってきてから、人が変わったかのように大人びた様子で、たったの一週間で良い意味で自立したようでした。また、大学生の皆さんとの関わりががとても楽しかったようで、暫く“さみしい、さみしい”とつぶやく程。何をしたかはあまり覚えてくれなかったのですが、親や兄弟以外の年上の大人の方との関わりが本人にかなり影響を与えてくれたようです。3年間参加できたことに改めて感謝致します。きっと大人になってもずっとこのあおきっ子合宿での日々が心に残っている大切な思い出となったことでしょう。本当にありがとうございました。



★合宿のテーマであった「ヒーローになる」。家でもヒーローになる!!と少しの間頑張っておりました。靴をそろえる、食器をかたづける、机をふく、など。今はだいぶ元に戻ってしまいましたが……。自分でやろう!という気持ちは増えてきたかな?と思います。

子どもたちに自分が成長できたと思えるところや楽しかったこと、お世話になった大学生へのメッセージを聞きました。その一部を紹介いたします。

★こういう企画があって、お母さんがいないとかなしい、さみしいことが分かったけど、知らない人よくしゃべらない人とも仲良くなれたからこういう企画はやめないでほしい。とても楽しかった。



★班のみんなとカレーやサラダを作ったことや学生のみんなと楽しく遊んだこと。

★お天気お兄さんお姉さんのPPAPが思い出に残りました。大学生と遊ぶことが楽しかった。

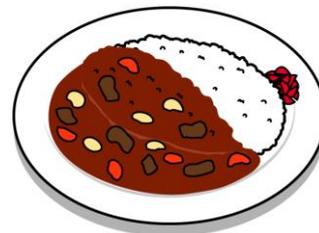
★お手伝いをもっと好きになった。

★6年生で最後なので始めはしっかり真面目にやろうと思ったけど、いろいろ友だちと

一緒になってふざけてしまった。でも楽しかった。長泉いくからね。

★心配りができて成長できた。

★パーティー。きも試し。手作りのデザート。学生からサインをもらった。



★合宿はとても面白かったです。特にきも試しが心にのこりました。最後の合宿だったけど思いきり楽しめました。来年も行きたいです。

★食事系の学生が作ってくれたハヤシライスがうまかった。

★一週間やさしくしてくれてありがとうございました。いつも大学生がやさしくしてくれたおかげで毎日がたのしくて、家でゲームしているよりも気持ちよかったです。

★去年のクリスマスやハロウィンでは知らない学生とは遊ばず、知っている学生としか遊ばなかったけど、一週間も一緒にいるからほとんど全員と仲良くなれて良かったです。



編集後記

学生さんたちのアンケートを読ませていただくと、参加した子どもたち一人ひとりの成長した様子がとても良く伝わってきます。保護者の皆さんからは、感謝の気持ちと応援メッセージが沢山寄せられています。来年も多くの子どもたちが参加してくれることを期待します。